Maria Schneider Orchestra

Number 3
2010

徹底！アマチュアイズム

BIG BAND!

Interview
小曽根 真

特集
My楽器物語！

My Favorite Album
Maria Schneider Orchestra
SKYBLUE
守屋純子＋辰巳哲也

アット！カマザワのスイス紀行
Inderbinen 工房編

田中啓文のビッグバンド雑談

吉野和孝の MOUTHPIECE 入門
V.Bach Mt.Vernon NY／3C

中澤哲典のボントロ道場 基本編

内堀 勝のコツコツ練習

Big Band New Face
The E・R・O Jazz Orchestra

BIGBAND LIVE SCHEDULE

The Vanguard Jazz Orchestra
Live at Blue Note Tokyo Report
宮嶋みぎわ

DAVE鈴木のBIGBANDこだわりセレクト

INTERVIEW

小曽根 真 *Makoto Ozone*

ビッグバンドの魅力は音楽の楽しさをシェアすること。

10代の頃からビックバンドが大好きでした。

バディ・リッチ、ベイシー、エリントン、サドメル、とくに高校時代に大阪サンケイホールで聴いた秋吉敏子＆ルー・タバキン・ビッグバンドなんて、もう素晴らしくて度肝を抜かれました。

北野タダオ先生率いるアロージャズオーケストラのステージにたたせていただいたのは、15才の時。いつかはこのバンドのために曲を書きたいと思って留学を決意したのです。バークリーへ行ったのは、ピアノを学ぶためではなく、楽典や編曲を勉強することが目的でした。その頃は、ピアニストとしてアメリカでデビューするなんて夢にも思っていなかったし、帰国したらアロージャズの後継ぎにしてもらえないかなあ、なんて考えていましたから。

在学中にバディ・リッチのバンドでピアニストを募集していた時には「絶対入団しよう！」って思いましたよ。周囲の先生に反対されて残念ながら実現はしませんでしたが。今でもあの演奏ツアーのバスに乗ってみたかったと思っています。

このバンドのトランペッター、G・ホプキンスがアレンジした「プレリュード・トゥ・ア・キス」を聴いたとき、僕には逆立ちしたってこんなスコアは書けっこない！と衝撃を受けました。当時、彼以外にもD・セベスキー、B・ミンツァー、S・ネスティコなどの優れたアレンジャーが活躍していて、学生としてはそれなりに作曲・編曲が出来るようになっていた僕も、挫折感を味わわされた時期といえます。

2003年、伊藤君子さんのアルバム制作からNo Name Horsesは生まれました。最初にメンバーの音を聴いたときには、そのドライな響きに鮮烈な感動を覚え、過去に書いた自分の楽曲がいきいきと鳴っているのを目の当たりにして、ようやく本格的なビッグバンド活動へ自信を持って挑むことができました。

僕のバンマスとしての役割はバンドの方向性を示すこと。楽曲ごとにミーティングし、合意したあとメンバーに演奏の細かい指摘をすることはほとんどありません。互いの個性を尊重し合い、歩み寄っていっしょに音楽を創る。この点はアマチュアの皆さんも、変わらないのではないでしょうか。バンド活動をするということは、音楽の技術的成長以上に人間的な成長をもたらします。相手の気持ちを大切にするやさしさが、大勢で音楽を創る、という場面では欠かせないからです。ライブに家族や友人が来ているメンバーがいれば、急きょ彼をフューチャーする、なんてことも僕のバンドではやっていますよ。

バンドでもうひとつ大切なことはオリジナリティを意識すること。僕のバンドの場合はオリジナル曲を演奏することですが、アマチュアの皆さんがスタンダードを演奏する場合でも、工夫次第で充分個性を発揮できます。ある程度曲が仕上がったら譜面から離れ、フォルテシモのエンディングをあえてピアニシモでやってみる、楽器の編成をちょっとだけ変えてみる、譜面にはない楽器を加えてみる、などの自分たちなりの工夫と遊び心がサウンドを活性化します。ベイシーとまったく同じ演奏では、ベイシー以上にはなりえない。音楽はもっとずっと自由なものです。「JOY」なくして感動を引き寄せることはできません。

「自分たちの音づくり」「自分たちの料理の仕方」それを提示して真剣勝負で演奏し、その気持ちをみんなでシェアする。これが音楽というクリエイティブな行為にかかわる醍醐味ではないでしょうか。

ピアニスト・作編曲家。84年、23才で世界デビューを果たして以来、数々の名盤を発表。03年、グラミー賞にノミネートされるほかバークリー音楽大学名誉博士号を授与される。また昨年より国立音楽大学の客員教授として教壇をふるう。05年に発表された「No Name Horses」は日本を代表するプレイヤーを結集して制作した初のビッグバンドアルバム。3枚目となる「Jungle」は本人曰く「小曽根真の音楽をビッグバンドというカテゴリーで十二分に体現できた」作品。

NO NAME HORSES
VERVE

NO NAME HORSES II
VERVE

JUNGLE
MAKOTO OZONE
featuring NO NAME HORSES
VERVE

みんなで語る 特集 WaiWai GayaGaya

My楽器物語

傍らにキミがいてくれればいい！ 想いどおりにならなくたってかまわない！
その「声」を聴くたびに胸が高鳴る、楽器とワタシのラブ・ストーリー！

出番の少ないバルブトロンボーン

KING 2102-LA（2B）
KING valve trombone 2B"Liberty"

今では非常に珍しいKING 2Bのバルブトロンボーンを所有しています。これは、70年代に生産されたもので、中古楽器屋で見つけました。一時期小編成のブラスバンドで使用してましたが、音程はあまりよくないです（汗）。2Bのバルブが普及しなかったのが分かるような気がします。ビッグバンドで出番は無いのですが、ベルがシルバーソニックと思われもったいないので（?）、5年ほど前から、ベルだけを通常の2Bに取り付けて使っています。 アトム

使い分けもまた楽しい

Vincent Bach Model37

中学生の時に実家の農作業を手伝い、小遣いをためてやっと買ったヤマハのカレッジモデルが最初の楽器。就職して今度はローンでビンセントバックのモデル37を購入。32年間使用していましたが、今年2番ピストンのねじ山を痛めて使えなくなり、やむなくブレッシングのtpを安く譲ってもらいました。現在はこれを使っています。バックの修理は楽器屋さんでは難しいとのこと。ものは試しで鉄工所に相談したところ、一週間で見事に直してくれました。やはり職人技ですね！今は両方の楽器を使い分けてます。これもまた楽しいですね。 ひでやん

バランサーは妻からの贈り物

K&H 480/88SSE

このバランサーは、なけなしの金をはたいた妻からの贈り物で、両面に桜の彫刻があります！金メッキなので、銀ベルの愛器にも映えてます。このバランサーだと心なしか音にも芯が出るような気がしますが、まだまだ精進が足りないのでがんばります～ ショウ

足の速さとトロンボーン

私は小学5年の時に鼓笛隊でtpを吹いてましたが、中学生になってブラスバンド部に入部するとき、顧問の先生から唐突に50m走のタイムを聞かれ、「おまえはtbに向いているから」と言われたのが吹くきっかけでした。しかし、その当時私の身長は140cmもなく、手の長さも当然短かったので、スライドに紐をつけて6と7ポジションに対応する有様。なぜそのような自分がtbに向いていたのか、先日偶然にも当時の顧問と再会した時に理由を聞くことが出来ました。「先生！足の速さとトロンボーンに何か関係があったんでしょうか???」先生曰く、「まぁトロンボーンがおらんかったんじゃろう！（広島弁です）」 jacky@tb

父から譲り受けた愛器とともに

KING Super20［写真左］

進駐軍のバンドマンだった亡き父から高校の時に譲り受けました。決して家庭的ではなかった父が、ブラスバンドのclを吹いていた私を自分のバンドに入れたくて買ってくれたのが後日談でした。キャノンボール・アダレイと同じ楽器だと言うのが口癖でした。譲り受けてから40年近くなります。音程は悪いしコントロールしにくいのですが、良い音がするんです！ ここまで来たら一緒に墓に入ります。 髭アルト

楽器も歯もピカピカにリペア

Vincent Bach MT. VERNON NY USA

私のペットは学生の時先輩から5万円で譲ってもらったボロボロバック。社会へ出て仕事に追われ、音楽とは無縁の生活を送るうち、前歯も抜けてバックを『封印』。4年前大学のOB達の演奏を見て無性に吹きたくなり、今のバンドに入れてもらいました。しかし前歯が入れ歯では如何ともし難く、一念発起してインプラントすることに。ラッパを吹きたいと言うと、担当の歯医者さんは音楽好きで、治療室に楽器を持ち込み、コンマ単位で削ったり・厚くしたりと、試行錯誤を繰り返してくれました。我がオンボロバックもオーバーホールとリラッカーでピッカピカの新品同様。今日もバンマスのシゴキが待っているスタジオへと『同士』を抱えて行く私です。 デン

楽器は自分で育てるもの

Selmer Alto Saxphone
SA80 serie II

1991年に購入しました。私にとっては妻と娘の次に大切な楽器です。高校時代、学校の所有するアルトがセルマーという恵まれた環境だったので、MarkVIが忘れられずSA80を購入しました。最初は重く全く鳴りませんでしたが、吹き込んでいくうちに、良い音で鳴り出してくれました。自分が育てた楽器には愛着がわきますね。 大平龍夫

現役を続けることへの挑戦

セルマースーパーアクション 80

ビッグバンドに参加したのが縁で、テナーからバリトンに変わりました。中国製～YBS61～YBS61～yanagisawa 901～現在セルマースーパーアクション80（1981年製）に変わりました。この間約5年、よくも浮気したものと思います。アルトはコーンのフラワー（1980年代製）、バスクラは最近手に入れたものでビトーのブラ管です。持ち替え用に持っていますが、バリサクだけでもう精一杯。65歳になる今年、楽しみは何時まで現役を続けられるか挑戦することです。1日でも長くジャズを楽しめればうれしい限りです。 石餅

心配したけど大当たり！

KING 3B

28年前の21歳の頃。必死でバイトして3Bを分割で購入しました。同じモデルの楽器を何本も並べてもらって、その中から吹き較べて選びました。昨今はそんなことはなさそうですね。プロでもない限り…。去年新しい楽器を購入しましたが、所望するシルバーメッキが受注生産だったので試奏なしでした。届くまでドキドキものでしたけど、これが大当たり！ でも、楽器は所有者を選べないんですね。楽器のせいにする前に、自分のスキルを磨かないと…。 crayz

郷愁をそそる？音色に惹かれて

BUESCHER True Tone

私の楽器はブッシャーの初期モデルTrue Toneで、その最後期にあたる1929年製です。新大久保のT管楽器で24万で入手しました。現代の楽器に比べると機構的には古くて扱いづらく、音程もアンサンブルで使うには気を遣いますが、なんとも言えない郷愁をそそる音色が気に入ってます。（ほとんどと思いこみ！ブラインドテストしたらわからないでしょう） 柳瀬浩敏

良い音は楽器にあらず

「楽器選びにうるさい人ほどたいしたことない」構図を知っている。私はヤマハの古い楽器を借りて使っているが、自分がしっかり練習していれば楽器にはなんの問題もない。愛着をもって、バックユーザーにヒケをとらぬ元気な音を出している。 フレディ

一番高い楽器買っちゃいました

Selmer MarkVI

この楽器に行きつくまでは、何度も楽器を変えていました。とりあえず一番高額の楽器を買えばもう変えることもないだろう?くらいの理由で選んだのがアメセルでした。初めてキーを押さえたとき「やっぱり何か違う!」と感じたことは、今でも忘れません。現在バリトンを吹いているので、この2本の「MarkVI」はお休み。車と一緒でワンオーナーだから「売れば高いかな?」なんて考えながら手入れしています。 ヒーロー

運命的な出会いのトロンボーン

KING DuoGravis

出張したときに某中古楽器店に立ち寄ったところ、1本のトロンボーンから"吹いてみろっ…"と声がしたのです。オフセットダブルロータリーのバストロンボーン"KING DuoGravis"でした。ラッカーのハゲや凹出し修復痕が多数あり、お世辞にも美品とは言えませんが、不具合は一切ありませんでした。吹いてみると、明るい音色で、攻撃的なサウンドがしました。この楽器は現在では製造されていないモデルで、ビッグバンドをやっているバストロ吹きの間では、未だに中古で探している人が多いようです。ちなみに"DuoGravis"とはDuo(2重奏)Gravi(感動)と言う意味だそうです。こんな即戦使用可能な楽器にふさわしい名前ですね。 2つの感動

艶のある音で鳴り続け30年

KING 2B Gold

東京でプロ活動していた79年に購入たもので、NHKの大晦日番組にも3回登場しました。以来30年間鳴り続けています。当時57万円のところ2割引で購入したと記憶しています。Back 6.3/4のMpと相性がよく、艶のある音を出してくれます。 アーバー栗

パート5人が全員3Bシリーズ

KING 3Bシリーズ

97年、某誌「角田健一 アマチュア ビッグバンド 出前クリニック」で当バンドは取材を受けました。ジャズのなんたるかをご教授いただき、以来勝手に師匠と拝んでおります。氏が使用している楽器はKINGの3Bシリーズ。角健バンドtbメンバーもKINGが多いと聞き、若干の面識があったのをいいことに、ずうずうしくも角田氏に楽器購入ツアーに同行していただいたのでした! おかげさまで現在はパートの5人全員、3Bシリーズを所有しています。 453

蘇るNYバック

BACH Model6

30年代に製作されたものです。Bachの工場は古い順から①ニューヨーク ②Mt.Vernon ③Elkhartにあります。現在は③で製作されていますが、①と②で作成されたものは通称ニューヨーク・バックと呼ばれ、tbは7000本ほどしか製作されず、希少価値の高い楽器になってしまいました。現在使用に耐えうるものは少ないのですが、私の楽器は管楽器製作所に調整していただき、新品以上に良く鳴る楽器になりました。 中澤哲典

理想は太くて暖かみのある音

Yanagisawa T-902

ヤナギサワの管体ブロンズは、全て銅のものより明るめで、適度な抵抗感に惚れて愛用してます。マッピはラバーのESM JAZZ 7を使ってます。少し派手目の音ですがラバーの抵抗感はグッド。キーアクション、吹奏感とも自分に合ってきてます。オールドにはないこの吹奏感が好きなのかも。好みは太くて温かみのある音。この楽器で出せればな〜とオーバートーン練習しています。 KIH

ブランクを補う自然な吹奏感

Bach-Spada43G GP #118

中・高でブラバン、大学でビッグバンド、社会人バンドで約10年プレイ。30年のブランクを経て2年前に演奏を再開しました。小学校6年のとき、母の知人のジャズトランペッターから古い楽器を譲りうけて以来、日管、ヒュッテル、ホルトン、コーン、バック、カリキオ、XO、シルキー、モネット…、そして現在Bach-Spadaに至っています。ナチュラルな吹奏感で癖がなく、バランスの取れた楽器ですが、演奏中のチューニングが厄介なのが難点。そのほかシルキーB6L GP BBとXO RVを所有。 倉持勝雄

ブロンド美人と金髪娘

KING Silver Sonic 3B Anniversary Model
SHIRES

プチ自慢その1

名前は'Strawberry' KING。20数年前に銀座の某楽器店に始めに入荷したロットの内の1本。当然一目惚れ!その時に我がバンドのtb御三家(3馬鹿トリオとも云う)が3本GET!あァ〜即買が出来たあの頃! 今は受験生を抱えるパパさん! 欲しいものも我慢我慢! 今では腹も出て…頭も薄くなり…加齢も…。

プチ自慢その2

名前は'Peach'、SHIRES。ちょい前にヘソ栗でGET! 銀ベルと違うパリパリした音! KINGがブロンド美人ならSHIRESは金髪娘(?)、昔はスキーにダイビングにゴルフに…今はボーンにI Need You! 当然家族もI Love You! KING B.B.

使うほどによくなる音が魅力

CANOPUS

昔のビッグバンドのドラムといえばバスドラムがやたら大きく迫力ありました。時代とともに楽器も進化し、チューニング次第で小口径でもビッグバンドに対応できるようになりました。トリオからビッグバンドまで、愛器カノウプスはよく応えてくれます。国内外のプロにお貸ししたときも好評でした。使うほどに音が良くなってゆきますが、自分の音を大切にしたいものです。 ジェフ

ピアノって特別?

PIANO

4年前からジャズアレンジの勉強を始め、BigBandと共演させて頂きました。当然ピアノは現場にある物を使うので、「My楽器」という発想はありません。ベースやドラムセットも、自分で持ち運ぶことを聞いて驚いてます。楽器にこだわって大事に扱う方たちをみると、私は余りに無頓着だなぁ〜って思います。 みどり

ほれぼれするラッカーの表現力

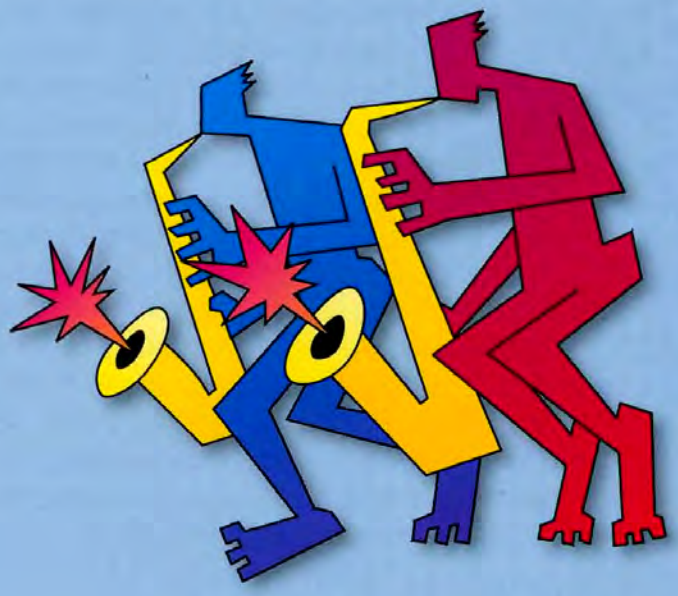
KING 3B

何本か所有していますが、ほとんどがKINGです。中学校の時に祖母に買ってもらった3Bラッカーは、主にコンボの時に使っています。ここ10年くらいフルバン仕様でずっと銀ベルを使っていましたが、改めてラッカーの表現力の高さにほれぼれしちゃってます。 なかやすこうた

みなさまからたくさんの貴重な情報をいただきありがとうございました。スペースの関係で全文掲載をすることができなかったことをお詫びいたします。
楽器の名称や製造年などは投稿者の表現のまま掲載していますので、実際と異なる場合があります。

イラストレーション：上米楽人

あなどってはいけないMCの役割り。



アマチュアビッグバンドのコンサートにはMCがつきものである。これには理由があって、アマチュアの管楽器奏者はバテが早い。一曲吹くと唇がへろへろになるので、それが回復するまでの時間が必要だ。そのために、かならず曲間にMCを入れて、唇の「復旧」を待つわけである。金管系はもちろん、サックスなどのリード楽器も、唇がへばると音が出なくなるのだ。そういうわけで、ビッグバンドのMCはほぼ「メンバーの唇のバテを回復する時間をかせぐため」にあると言っても過言ではない。コンサートによっては、プロの司会者がバンド紹介から曲の紹介からぜんぶやってくれたりするが、私は個人的には、プロの司会者によるMCはあんまり好きではない。アマチュアバンドのコンサートを盛りあげてやろう、という気持ちはわかるが、

「○○オーケストラによる大迫力のすばらしいビッグバンドサウンドを心ゆくまでお楽しみください」

などとあざとくほめられても、素人にとっては単にハードルが上がるだけだし、ジャズというか音楽をあまり知らないひとが多いようで、事前に打ち合わせをさせられ、この曲はどんな曲ですか、ベイシーナンバー？　それはなんのことですか、カウント・ベイシーというのは有名なひとですか、何年に作曲された曲ですか、知らないですか、テンポはどのくらいですか、わかりました……などとメモをとったのに、

「それではさっそくお送りしましょう。カウント・ベイシー作曲の有名なナンバーから『アフリーク』です、どうぞ」

有名どころかかなりマニアックな曲だし、ベイシーの作曲でもない。また、たとえばウェザー・リポートの曲をやってるのに、最高にスウィンギーでしたね、などというのはほめられてるのかおちょくられてるのかわからんし、「サキソホン」の独奏の部分が感動的でしたね、などと妙な用語を使われても醒めてしまう。だから、私はコンサートのときにプロの司会者が曲やソリスト紹介をしてくれると言ってきても全部断り、冒頭に、つぎは○○オーケストラの演奏です、とだけ言ってくれるように頼むことにしている。そもそも、今の曲のソロはテナーサックス○○、トランペット○○、ピアノ○○でした……というようなソリスト紹介ははたして必要だろうか。私はある時期から全部やめてしまった。アマチュアバンドなのだから、ソリスト個人を知っている客は紹介してもらわなくてもいいし、知らない客にわざわざアマチュアミュージシャンの名前を教えてもしかたがない、という気持ちからである。

正直な話、とんちんかんなプロの司会者に頼まなくても、バンドメンバーにひとりぐらいはかならず「演奏はそれほどでもないが、しゃべくりが異常にうまい」やつがいて、暗黙の了解としてMCを毎回一手に引きうけていたりする（それは私です）。アマチュアバンドのコンサートなのだから、初対面のプロに任せるより、そういうやつがMCをしたほうが、うまい下手はプロに負けたとしても、客も喜ぶし、うしろで聞いているメンバーも楽しいのではないだろうか。

さて、そういう場合、アマチュアの司会者は「ウケ」を狙うべきかどうかという問題が浮上するが、それについては次号に。

田中啓文▶1962年、大阪府生まれ。作家。神戸大学卒業。1993年、ジャズミステリ短編「落下する緑」が「鮎川哲也の本格推理」に入選。同年「背徳のレクイエム」で第2回ファンタジーロマン大賞に入賞しデビュー。2002年「銀河帝国の弘法も筆の誤り」で第33回星雲賞日本短編部門を受賞。2009年「渋い夢」で日本推理作家協会賞短編部門を受賞。主な作品に「聞りたい田中」「笑酔亭梅寿謎解き」「UMAハンター馬子」「天岩屋戸の研究」「忘却の船に流れは光」「水霊ミズチ」（2006年映画化）などがある。

バンドのサウンドをいかに向上させるか。そのコツをプロに聞いてみました。

ビッグ・バンドにおけるハーモニーの重要性。

今回はアマチュアバンドで一番理解されていない、ハーモニーについて書きたいと思います。

音楽の3要素はメロディー、リズム、ハーモニーといわれています。この中のメロディーとリズムは、極端な話、勉強しなくてもセンスや経験から、ある程度作り出すことができるでしょう。時々6～7歳の天才少年、少女プレーヤーの話題がマスコミに登場しますが、そのほとんどがドラマーです。もちろん小学生のすぐれた作曲家もいますが、彼らはほとんど例外無く、エレクトーンやピアノの英才教育を受けています。

さてジャズの中で一番複雑なハーモニー（和音）を表現できるのは、管楽器を多数含むビッグバンド編成です。そもそもドからシまで、12しか無い音（オクターブ以上を除く）を13人以上の管楽器で演奏するのですから、これらの音の組み合わせ、役割がとても大切なことは、容易に想像がつくと思います。

ご存知のようにジャズやポピュラー音楽では、和音をコード・ネームで記します。ただしコード・ネームは和音の構成音を示すだけで、複雑で微妙な重ね方は表現できません。それぞれの構成音には、役割と重要性の程度があります。

コードは3度の積み重ねでできていますから、構成音は1、3、5、～13まで、全部奇数です。したがってC12、Fm14のような偶数のコードはありません（6やsus4など例外はあります）。

譜例1はCMaj7のコードの原型です。どうぞピアノで音を出してみて下さい。明るくて広がりのある、爽やかな響きがするでしょう。

譜例2はその転回形で5度のG音を省略しています。このCとB音は半音でぶつかって不協和音を作り出していますが、EとC音は長3度で柔らかなハーモニーを、EとB音は完全4度で、濁りの無いとても澄んだハーモニーをしています。この3つの音程が微妙なバランスを保って、洒落たハーモニーを醸し出しています。

それでは譜例3の別な転回形を弾いてみて下さい。同じ構成音なのに少々違和感を感じるでしょう。この場合CとB音は♭9（フラット9）という音程をつくっています。今度はEとG音を省略して、CとB音だけを弾いてみて下さい。なんとも溶け込まない、足の引っ張り合いみたいな不快な響きがします。ピアノならまだ良い方です。管楽器2本で演奏したらとても耐えられないでしょう。このように同じ構成音でも、重ね方で全く異なった響きがするのです。

このように和音には、とても大切な音、あまり重要でなく省略可能な音、低音部をしっかり固める音、低音部で使わない方がいい音、その他各音にはそれぞれ特徴・役割があるのです。低音部をしっかり固める音は、とても大切ですが、ちょっと控えめのバランスの方が良いでしょう。洋服に例えれば芯になる生地で、これがしっかりしてないと、すぐ形崩れしてしまいますが、出しゃばって芯が表面に出て来てはせっかくの服も台無しです。一方高音部に向いている音は、服のカラーやデザイン、装飾です。服を印象づけるとても大切な部分ですが、あくまでもしっかりした基礎の上で、その効果が発揮されます。

アマチュア・バンドの練習中、時々こんな光景を見かけます。メンバーから、この音でいいの？　とピアニストにコードを確認している様子です。今回記したように、その音は重ね方（ハーモナイズ）しだいで、良くも悪くもなるのです。アンサンブルの練習に時間をかけるのは当然ですが、もう少し、そのハーモニーにも興味を持っていただけたら、と思います。

今日のまとめにヒントを一つ。♭9の音程は、ある2種類のコードの場合以外は、ほとんど全部避けた方がいいでしょう。

内堀 勝
Masaru Uchibori

フリーのアレンジャーとして、ジャズ、ポップス、歌謡曲やテレビのCF、クイズ番組の音楽まで幅広く活躍する一方、バンド・クリニックを行ったり、山野ビッグバンド・コンテストの審査員を20年以上務める等、アマチュアバンドの活動にも積極的に参加している。国際ジャズ教育者協会(IAJE)会員。2004年リハーサル・ビッグ・バンド「MU BIG BAND」によるCD「WAYNE」をリリース。2005年、メンバーを若手中心に一新し、Big "LUSH" Bandと名前を変えてコンサート、ライブと積極的に活動中。昭和音楽大学ジャズ科講師。

THE E・R・O JAZZ ORCHESTRA［大阪］

BIGBAND NEW FACE

全国のビッグバンド仲間を紹介するコーナーです。
大阪を中心にベイシーを愛するメンバーが集結！

Count Basieの音楽を追求するビッグバンド。

2006年夏、大阪にてCount Basieの音楽を生きがいとするプレイヤーで結成されました。同年のJapan Students Jazz Festivalを皮切りに、2007年には金沢遠征、2008年にはモントレージャズフェスティバルin能登、御堂筋オープンフェスタへ出演。またライブハウスでは、Royal HorseやNew Suntory 5、Corner Pocket等の関西を代表するライブハウスへ出演。2009年には日本を代表するトロンボーン奏者である村田陽一さんをゲストにお迎えし、神戸CHICKEN GEORGEにてライブを行いました。

今後もバンドコンセプトでもある"大人気ないBig Band"を実践しながら、Count Basieの音楽をとことん追究します。とにかくライブへぜひ、お越し下さい。

（EROは、Eternal Rhythm Of Basieの略です）

［ザ・エロージャズオーケストラ］
オーナー：白樫政孝　バンドマスター：中安航太
コンサートマスター：藤田尚孝
団員＝19名 結成＝2006年 活動拠点＝大阪府大阪市
http://gold.ap.teacup.com/loose/

BIG BAND LIVE SCHEDULE

兵庫県
2010.1.30 sat
Mate Jazz Orchestra
http://www2s.biglobe.ne.jp/~s-muto/matejo/index.html
新長田ピフレホール ¥1,000
[第13回定期演奏会]明石で生まれて結成35周年!!当時メンバーから新規メンバーまで、老若男女問わず集まったメンバーで今年はあえて枠を設けず、バンド色を全面に出したオリジナリティ溢れるステージを展開。

広島県
2010.1.31 sun
Cheers! Orchestra
http://cheersorchestra.web.fc2.com/
五日市公民館 13:00会場 13:30開演 入場料:無料
2nd Concertを開催いたします。ぜひお越し下さい!

群馬県
2010.2.7 sun
ぐんま東毛ビッグバンドJAZZフェスティバル
群馬県太田市藪塚本町文化ホール ¥1,000 ほか
群馬県央東部のビッグバンド6団体がおくるビッグバンド・エンターテイメントショー
[出演予定]群馬大学G.K.オールスターズ／新田ニューフィールド・ユニオン／ミツバ・ミュージック・レンジャー／BIGBAND MANEKINEKO／ジョイントベンチャーズ・オーケストラ／ISESAKI SMC BIGBAND

神奈川県
2010.2.7 sun
YCB Jazz Orchestra
http://homepage1.nifty.com/TIS/ycb/
ホテルサンライフガーデン江陽の間(平塚市榎木町9-41)
一般男性:¥5,000 一般女性:¥4,000 学生:¥3,000
「カウント・ベイシー・オーケストラ」結成75周年記念ツアーのウェルカム・パーティーにて御本家の前で演奏することになりました。
問い合わせは平塚市文化財団
0463-32-2237 zaidan@hiratsuka-bunka.or.jp

京都府
2010.2.7 sun
La Fiesta Jazz Orchestra
http://www.office-crescendo.jp/pinoroom.html
ライブハウス 都雅都雅(トガトガ)
前売り:2,000 当日:2,300
京都を中心にライブ、コンサート、ダンスパーティー等で活動してます。結成16年目の社会人バンドです。今回のライブも4ビートから16ビート、ラテンまでいろいろ取り揃えてます。

熊本県
2010.2.13 sat
Count-Four
http://www5a.biglobe.ne.jp/~arper/
熊本県 益城文化会館 14:00開演
(前売り)大人:¥1,000 高校生以下:¥500
熊本県立劇場による舞台芸術ネットワーク事業の一環です。親しみやすい曲からゴリゴリのジャズまで幅広く演奏いたします。

東京都
2010.2.13 sat
BEATec Big Band
http://green.ap.teacup.com/applet/beatecbigband/msgcate8/archive
品川イーストワンタワー エントランス
入場料:無料 18:45～
楽器の街、新大久保のスタジオビーテックを拠点とする若手中心のビックバンドです。

東京都
2010.2.14 sun
a.b.c. Lab Band
http://www.geocities.jp/abc_lab_band/
東京都羽村市生涯学習センター ゆとろぎ大ホール
14:00～
無料(往復はがきによる応募)
バレンタイン Jazz コンサート
詳しい応募要領は、HPに掲載してます。

山梨県
2010.2.20 sat
Feeling Jazz Orchestra
http://fjo.jazzsynth.com/
山梨県笛吹市スコレーセンター
18:30会場 19:00開演 無料(要整理券)
結成45周年記念コンサートです。45年分のレパートリーをずらり並べてお送りします。ぜひお越しください。

東京都
2010.2.20 sat
Kunitachi Bigband Express
国立市民芸術小ホール 入場料:無料 19:00開演
東京都国立市を拠点に2009年4月に結成された社会人ビッグバンドの初ライブです。1980年代以降のコンテンポラリーを中心にレパートリーを増やしています。多数のご来場をお待ちしております。

東京都
2010.2.21 sun
Swingin' Paradise Jazz Orchestra
Hamamatsu Swing Muse
http://www.tokyu.co.jp/group/tokyukai-tama/jazz1002.html
亜細亜大学3号館講堂 開場14:00 開演14:30
入場料:無料
多摩東急会ジャズコンサート2010に出演します。

岩手県
2010.2.22 mon
Morioka Jazz All Stars
http://8.plala.or.jp/mja/index.htm
盛岡 プラザおでって内 おでってホール
入場料:¥500 18:00開場、18:30開演
February Live 2010 MJA vs Crumbvon
社会人バンド 盛岡ジャズオールスターズと岩手大学クランボンジャズオーケストラの初のジョイントライブを開催致します。皆様の御来場、御待ちしております。

北海道
2010.3.13 sat
GAMA Band
http://www.geocities.jp/gamaband/
KRAPS Hall (札幌市)
¥2,000
18:30開場、19:00開演
札幌で活動しているバンドです。Mingus, Geoge Gruntz, Gill Evans, Thad Mel などを中心に演奏しています。
今回は、Hr、Tubaが入り、ますます豊かな音の響きをお楽しみいただけます。

東京都
2010.3.13 sat ～14sun
the CRAZY ANGEL COMPANY
http://www.crazy-angel.com
アサヒ・アートスクエア(墨田区) ¥3,500
2006年春以来4年連続上演を成し遂げてきたブラスパフォーマンス「雅咆」。オリジナル楽曲に所狭しと縦横無尽に駆けめぐるプレイヤー!ダンス・フラッグ・書芸・殺陣・剣舞等、息もつかせぬハイテンションでCAが吼える!

みなさまからたくさんの貴重な情報をいただきありがとうございました。スペースの関係で全文掲載をできず、また次号送りとなってしまったコンサート情報が出てしまい深くお詫びいたします。

全国アマチュアビッグバンド・ライブ情報
自分のバンドのライブ告知をご希望の方は
info@bigband-jazz.jp まで!

福岡県

2010.3.14 sun

Masterpiece Jazz Orchestra

中洲Gate'7(博多区中洲3-7-24 Gateビル7階)
前売(当日)2000円+要1ドリンクオーダー
お問い合わせ 中洲Gate'7(092-283-0577)
バンマス北村 lester_billie_all_of_me@yahoo.co.jp

Music Alive vol.1☆ビッグバンドを中心に歌あり、三管ハードバップありのステージ。ゲストに東京からvo宮崎幸子さんとpf宮嶋みぎわさんをお迎えします♪

埼玉県

2010.3.21 sun

0296 Music Festival 春

http://www.geocities.jp/allswingjazzorch/

越谷市南越谷 サンシティー越谷市民小ホール
入場料:無料　開場12:30 開演13:00
＊越谷市の大袋公民館と千間台記念会館で整理券配布
＊整理券が無くても入場可。満員時は整理券持参の方優先
[出演予定]オールスウィング ジャズ オーケストラ／マンスリー ジャズオーケストラ／スウィング ベアーズ／ドリーム スウィング キングダム／ビテカントロプス ジャズ オーケストラ

大阪府

2010.4.3 sat

Conte Basic Orchestra

http://www.geocities.jp/contebill/

大阪梅田・ロイヤルホース　入場料:未定
完全燃焼フルバン・コントベイシックオーケストラが、老舗ロイヤルホースに参上!ぜひお越し下さい!

富山県

2010.5.4 tue(祝)

Field Holler Jazz Orchestra

クロスランドおやべ(富山県小矢部市) 15:00開演
一般:¥2,500 中学生以下:¥1,000
北陸を代表するビッグバンドが毎年ゴールデンウイークに海外プレイヤーを迎えて送るコンサートシリーズ。今年のゲストはエリック・マリエンサル(as)

群馬県

2009.7.3 sat

Isesaki SMC Big Band

http://isesaki-smc-big-band.com/

伊勢崎市文化会館大ホール　入場料:¥1000
SMCは1991年に結成され"大好きなBIG BAND JAZZで地域社会に貢献しよう"を合言葉に活動しています。メンバーは20才代から70才代、職業も様々。皆様のご来場を心からお待ちしております。

The Vanguard Jazz Orchestra

Live at Blue Note Tokyo

熱気につつまれた感動のライブをレポート!

宮嶋みぎわ

ピアニスト・コンポーザー・アレンジャー
VJO来日公演を友人としてサポート

❖ 2009年12月、The Vanguard Jazz Orchestra Established by Thad Jones & Mel Lewis (以下VJO) の来日公演が大盛況のうちに終了した。 20年ぶりの来日に、ツアー中は日本各地からファンが殺到! 実はVJO側はその熱狂ぶりを事前に聞きつけ、特別なはからいを考えてくれた!

まず、全8セット、全て違う曲を演奏すること! 大型トランク4つに分けて運ばれた譜面をてんてこ舞いで整理する姿が、楽屋のあちこちで見られた。運ぶのも演奏も整理も「同じ曲を繰り返す」方が"楽"に決まっている。だがそこで手を抜かないのがVJO流なのだ。

次に、なるべく正規メンバーを揃えて来日すること。一流プレイヤーには多数の仕事が舞い込むため、自分は他の事をし、ツアーにトラを派遣、というのはよくあること。だが今回は「ファンが待っている。なるべく正規メンバーで行こう」と話しあってくれたのだそう。結果、16人中13人が東京に顔を揃えた! そのお陰で、NYに居るかのようなアットホームさと、愛と尊敬に満ちたメンバー同士のふれあいまで、感じることができたのだ。

観客の盛り上がりはかつて見た全てのライブの中でも最高のものだった。心からの声援に、力を尽くして応えるプレイヤーたち。感動的な心の交流があの場にはあった。「応援してくださる皆様の姿勢と熱い思いが、2009年を、今までにない最高の年にしてくれた」と後に彼らはコメントしている。これをきっかけに今年はVJOと日本のビッグバンドとの交流が盛んになっていくだろう。2010年、今から楽しみだ!

MM

読者REPORT

❖ ついに演奏が始まる! 私はこの瞬間が一番好きだ。総勢16名のメンバーが一斉に音を鳴らす…『バーン!』
もう、まったく涙を流して卒倒しそうになる。それが奇跡的な来日を遂げたVJOであればなおさら、私は今まさに最高の贅沢を味わっている!

彼らの奏でる音楽は、一人ひとりの音に明確な意志とセンスを持ち合わせ、全員がある共通の到達点へと向かった瞬間、バンドが一つになると言うこと…つまりこれはビッグバンドの醍醐味にして、沢山の"ビッグバンド人"が憧れる、まさしく伝統的であり極上のサウンドなのである。

デジタル技術が発達するこのご時勢、いつまでもこの"生きた"サウンドが受け継がれ、もっと沢山の人に知られ、愛され続けてほしいと願わずにはいられない素晴らしい公演であった。　VUJO 田中裕也

❖ 演奏が始まる前から会場には独特の熱気が。そして演奏スタート! 決して派手なオープニングではないけれど、なにかが起きそうなドキドキ感がすごい。そしてTerell StaffordのアツイSolo!! 私としてはこの日で一番よかったSoloはこれですね。(笑)

あまり聞き取れないJohn MoscaのMCに若干めげながら、アンコールまで食い入るように見て聴いて、なにかコツでもあれば盗んでやろう、と全身全霊を傾けました。各セクションと全体のバランス感覚、各人の秀逸なSolo、そしてなにより掛け値なしでSwingすることを楽しんでいるオッサン16人、素敵すぎます。自分もこうなりたいと思いました。

今度我がバンドでは無謀にも名曲Mean What You Sayを取り上げます。私がBlue Noteで直に感じたSwing、メンバーにもうまく伝えたいと思います。　CPJO 奥村 祥

VJO日本語ファンサイト ▶ http://www.myspace.com/vanguardjazzorchjp